

LMI世界宣教会はリーベンゼラ・ミッション・インターナショナル（LMI）に加盟している日本の宣教団体です。

コロナ禍前の宣教活動再開へ

ニューヨーク周辺邦人宣教・宣教師
笹川雅弘・由利子

ニューヨーク州では入念な感染防止対策を前提に通常活動が再開されており、NYめぐみ教会も状況を見極めつつコロナ禍前の宣教活動再開へ向けて動き出しました。

子どもデイキャンプ

7月11日には一日だけの子どもデイキャンプ（計17名の子どもたちが参加）が行われました。約半数が求道者ご家族の子どもたちでした。高校生のボランティア5名と宣教協力者たちの協力のもと恵みのときが持たれました。

ゴスペルワークショップ

8月26日（計12名参加）と9月23日（計11名参加）の両日、Greg Kellyさんの指導で一日ゴスペルワークショップが行われました。参加者の約半数が求道者でした。10月14日からは、毎週木曜日計8回のリハーサルと12月のクリスマスコンサートというゴスペルワークショップに挑戦します（大人定員25名／最少開催人数15名、キッズ定員20名／最少10名）。

英語バイブルクラス

Linda Robertsonさん（元小学校教諭）の指導で10月13日からの秋のクラスを教会において開始することになりました（ZOOM併用、毎週水曜日）。

ハートフォード集会

9月最後の木曜日、教会から約百マイルの距離にあるハートフォードのご家庭に7名が集まり（約一年半ぶり／ZOOM

連絡先：LMJ世界宣教会 熊久保公義
電話：045-931-3312
Mail: kimikuma1126@gmail.com
HP: <https://nymissionsasakawa.wixsite.com/support>



約一年半ぶりに開かれたハートフォード集会（9月30日）

参加2名）、学びと交わりのときが持たれ、交わりの喜びをかみしめました。今後も月に一度は集まる予定です（その他の木曜日は毎週ZOOMでの学び）。

派遣と加入

7月末に永住者会員であった和泉さんご家族をフロリダ州へ送り出しました。一方、7月に2名、8月に1名の転入会者が与えられました（駐在員の奥様2名、永住者の奥様1名）。礼拝における賛美奉仕、教会会計の奉仕など、なんとか支えられています。

求道者の動向

今年11月に日本への帰国予定の方が一人9月3日から礼拝に参加され熱心に求道されています。また、教会員の子弟（10歳）が受洗を希望しており、9月の第二主日から礼拝後に学びを行っています。

【祈りの課題】

- 教会につながっている求道者たちに信仰が与えられるように。
- 10月から予定されているゴスペルワークショップと英語バイブルクラスが無事開催され宣教のために用いられるように。
- 全面的に一新された教会のホームページが用いられるように。
- 宣教師夫妻の健康が守られ経済的必要性が満たされるように。



安藤 眞理
LMI世界宣教会 会計事務

宣教師の働きの 支援を通して



海外宣教との関りは、2001年当時、かもい聖書教会の牧師であられた立石先生ご夫妻が、初代のNY邦人宣教、近藤泉・美貴子宣教師（1990~2003）の後任となられる時に「立石尚志・聖美宣教師を支える会」の一員にさせていただいたことからです。最前線NYでのご夫妻の悲喜交々なるご苦労も然ることながら、宣教地での多くの祝福の御業を見せて頂きました。その間、会計係としては、為替レートの激動の中（119円~80円）、全国の支援者の皆様からのささげ物により、米国への送金と毎年の予算が満たされましたことに、感謝と賛美をもって取り組ませて頂くことができました。この働きは2003年から2020年まで18年間続きました。

笹川雅弘・由利子先生が立石先生の後任となられ、渡米のための準備の中、コロナ感染が一挙に世界中を覆い、予定されていた教会訪問のキャンセルが相次ぎ、これからの支援の約束が遅々として進まず、笹川先生ご夫妻と理事会他

関係者一同、1年以上忍耐の祈りの期間を通されました。緊急事態宣言解除の隙間をぬって笹川先生は教会訪問を願い出られ、また立石先生支援者の中から笹川先生指定に献金を切り替えてくださる教会や個人の方々も次々と起こされて、渡米後の必要経費も満たされる見通しが立ってきた時にちょうど大使館も再開し、2021年3月にビザが発給され、4月に待ちに待った笹川先生ご夫妻渡米の「主の時」となりました！

LMJ会計事務は、それまで長く横浜緑園教会の原田俊子先生が担っておられましたが、2020年度から佐藤かおり姉と共に2人でお引き受けすることになりました。渡米後も、主は必要を備えていてくださり、これからのことも主に信頼しています。

宣教師のお働きは、尊いお祈りと忠実に献金をおささげくださる諸教会、支援者の皆様に支えられていることを覚えて感謝いたします。今年から新しく、毎月1回LMJ理事会Zoom祈り会がスタートし、宣教地と繋がって、笹川宣教師、近藤宣教師からの直近の報告・課題をお聞きして、すぐに折り合えることは、コロナ禍の恵みです。

救われる魂への万軍の主の熱心を覚えて、私たちの日常と共に、世界宣教の上に主のご栄光を待ち望みます。
(かもい聖書教会員)



M4F (Mission for Future) 世界宣教の将来展望

この表現（M4F）の背景には、21世紀における世界宣教の働きがどのように変化したか、そして伝統的な宣教団体とパートナー教会が、この課題にどのように対応しているかという問いが隠されています（キーワードはデジタル化、グローバル化、パートナーシップ）。

リーベンセラ・ミッションもまた、世界規模での変化に注目

しています。従来の開拓宣教から離れ、現地の教会と目線を合わせた（対等な）パートナーシップを目指しています。西洋の影響を受けた典型的な開拓宣教の役割は、もはや殆どありません。多くの国々で宣教師たちは「この国における私の使命、また役割は何か？」と自問しています。南半球で急速に成長している教会から「ポスト・キリスト教」となったヨーロッパに送られて来る宣教師が増えています。リーベンセラ・ミッションにおいても、近年、国内宣教の分野において成長を遂げています。ベルリン等、脱キリスト教化された東ドイツの都市に新しい教会が誕生し、続けて新しい教会開拓が計画されています。その一方

でIHL(本来は神学校として設立)の卒業生のうち、世界宣教へと召し出されるのはごく一部です。だからこそ、新しい宣教師候補者たちが2022年の来日のために備え、私たちのチームが大きくなることを一層喜んでいきます。

私たちは21世紀の課題に取り組み、私たちの日本の兄弟姉妹とともに、日本における宣教の働きが今後どのように変化していくか、あるいは変化すべきかを模索していきたいと考えております。すべての人が救われて、真理を知るようになるために。

(Iテモテ 2:4)

(アンドレアス・グロース：
LMI-Jチームリーダー)

ねえ、ねえ、子ろばさん

バングラデシュ医療宣教師
近藤 恵

みなさまお元気ですか？10月になりましたが、こちらは、まだまだじりじりと太陽が照りつけています。バングラデシュに戻ったのは2月中旬。今持っているビザは11月28日で切れます。このビザをもらった時、主が「少なくともこの時までは行ってらっしゃい」と言われたのだと思いました。そしてその後のことは白紙のままでした。

ジョイランクーラの病院は、1月に脳出血を起こしたドクター・タポシュが復帰できないままで、ドクター・ルーシーが多くの責任を持ち、懸命に働いています。人間的に考えれば、私も働き続けるべきだろうと思っていました。でも主の導きを待っていました。そんな中、病院は、私の家のすぐそばに、警備員さんが駐在するための小さな建物をつくりました。以前は壁もない一坪もない造りだったのが、今度はコンクリートの壁の、赤い屋根の小屋です。これは、病院からの私へのメッセージなのだろうと考えていました。

私は毎晩寝る前に羽鳥明先生の「今日の知恵、明日の知恵」を読んでいます。9月12日は、箴言22章29節から書かれています。一じょうずな仕事をする人を見たことがあるか。その人は王の前に



病院敷地に建てられた、新しい警備員詰め所（奥の赤い屋根の建物）。手前は以前の詰め所

は立つが、身分の卑しい人の前には立たない。一「じょうずな仕事をする人」の意味は、「手先の器用な人」ではなくて「良心的にコツコツと、自分の職分をやりとげる人」と解説されています。これを読んだとき、私にとっての仕事は、やはりここで働くことだろうなあと思いました。

そして次の週、朝起きたばかりの時、何となく日本で働いていた時のことを思い返し、「忙しい時もあったけど、暇な時もあったなあ。きっと有能な人だったら暇な時なんてないんだろうなあ」と少し悲しく思っていました。その時どこからか「主がお入り用なのです」という声が聞こえたように思いました。「主は、私にバングラデシュで働き続けるように言われているのかもしれない」と思いました。

さらに9月26日の日曜日のZOOMで参加している自治医大前キリスト教会の礼拝の説教は、マルコの福音書11章1節から11節からでした。イエスさまが、子ろばに乗ってエルサレムに入城される箇所です。子ろばは、荷物を運んだこともないのに、大人のイエスさまを乗せました。よろ

よろとして危なっかしかったに違いありません。それでも自分に与えられた仕事をやりました。救いの実現の第一歩をこの子ろばが成し遂げたのです。このことを知った時、私もこの子ろばのように、自分に与えられた仕事をしようと思いました。そして、天国に行って、もしこの子ろばに会ったら聞いてみたいと思いました。「ねえ、ねえ、子ろばさん。あなた、イエスさまをお乗せしたときどんな感じだった？」子ろばは、きっとこう言うに違いありません。「とっても大変だったけど、でもちゃんとやったよ」と喜びに顔を輝かせて。

【近藤恵医療宣教師を支える会】

〒329-0403 栃木県下野市医大前3-7-1

☎0285-44-7564 自治医大前キリスト教会気付

e-mail:meg0_02007@yahoo.co.jp

【現地】 Garo Baptist Convention
Christian Health Project
Joyramkura.p.o. Haluaghat 2260
Mymensingh, BANGLADESH

【祈りの課題】

- ビザの更新が速やかにできようように。
- ドクター・ルーシーが強められるように。
- ドクター・タポシュの回復のために。
- 母と姉の救いのために。

リーベンゼラミッション 宣教再開70周年記念集会

30年前の1991年9月23日、「リーベンゼラミッション宣教再開40周年記念集会」が青山学院講堂で行われました。その翌年、1992年4月29日に日本福音キリスト教会連合が発足し、リーベンゼラ・キリスト教会連合も日本新約教団、単立キリスト教会連盟、北海道福音教会協議会とともに、その流れに合流して今に至ります。

早いもので今年はリーベンゼラミッションの日本宣教再開から70周年の節目になります。

リーベンゼラ日本宣教団は今年11月3日（水、祝）に下記の要領で「リーベンゼラミッション宣教再開70周年記念集会」を開催いたします。今、私たちが主の救いの中に生かされているのは、主が遣わしてくださった宣教師の方々の働きによるものです。宣教

困難な日本の農漁村を中心に多くの犠牲を払いながら、信仰と希望と愛をもって宣教を進めてこられた宣教師たちの働きと、送り出してくださった本国の諸教会の祈りを覚え、感謝と祈りのひと時を持ちたいと願っています。

当日は、奥多摩福音の家からZOOMで数カ所を結んで、オンライン



ミッション本部があるバート・リーベンツェル（1989年8月、中山牧師撮影）

た集会を計画しています。お申し込みいただいた方は、どこからでもご参加いただくことができます。また集会の様子は、後日、YouTubeでも公開予定です。

記

＊日程：2021年11月3日（水、祝）11～15時

＊形式：ZOOMによる配信／サテライト会場調整中

＊参加費：無料（自由献金の案内あり）

＊プログラム

11～12時 午前の部

礼拝（説教：田村勉先生）／挨拶／他

12～13時 昼休み 昼食（各自）

13～15時 午後の部 宣教師セッション／日本セッション／クロージング

＊午後の部では、宣教再開当時のドイツや現在のバート・リーベンツェルの様子を通して、日本宣教の背後にある労苦と働きを覚えたいと思います。帰国された宣教師の先生方からもメッセージをいただいております。また、この70年の間に日本で行われた開拓の働きとともに、現在のシューラーハイムや中野島ミッションセンターもご紹介します。青少年伝道や教会の交わりに大いに用いられてきた「奥多摩福音の家」や、海外に多くの宣教師や働き人を送り出してきた「LMI世界宣教会」のプレゼンテーションもあります。

集会についての詳細（招待URL、サテライト会場など）は、改めてご案内しますので、是非、ご参加ください。集会の祝福、宣教の前身のためにも、お祈りくださいますよう、お願いいたします。

Facebook：<https://www.facebook.com/LMJ70th/>

お問合せ：電話 044-977-8053

メール sugao-ch@nyc.odn.ne.jp

（中山信児・菅生キリスト教会牧師）

理事会便り

★近藤恵医療宣教師の健康とお働きが支えられるようお祈りください。ドクター・タポシュの健康の回復、責任を担っておられるドクター・ルーシーの働き、病院の経営のためにも。
★笹川雅弘・由利子宣教師夫妻の働きのために。コロナに関わる状況も少しずつ変化し、活動

の場も広められています。ゴスペルの働き、英語バイブルクラスなどの働きを含め、すべての働きが救いのために用いられ、体力や経済的な必要も備えられますように。

★各宣教師の支える会、また理事会の働きが、宣教師を正しくサポートするために用いられまますように。毎月行われている理事会祈禱会が祝福されるように。

★世界宣教への思いがある方、ご連絡ください。ともに祈りましょう。

【祈り】「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。忍耐の限りを尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。」（Ⅱテモテ4:2）（田辺証夫・LMI世界宣教会理事長）